覧古考新

岡谷市史編さん室だより『覧古考新』No.28
2025(令和7)年　5月
岡谷市教育委員会生涯学習課
岡谷市史編さん室 編集・発行
岡谷市中央町1-11-1 イルフプラザ3F
TEL 0266-78-8455
WEBはこちら

覧古考新 ：古い事柄を顧みて、新しい問題を考察すること
～岡谷の歴史を深く思い、岡谷の今を重ね、岡谷の未来が拓けるような新しい市史をめざして～

こぼれ話～わたしたちの岡谷を知ろう 2～

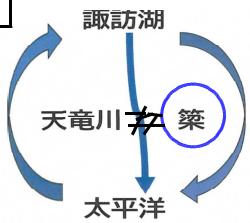
『岡谷のウナギ 』

↑岡谷市HPより

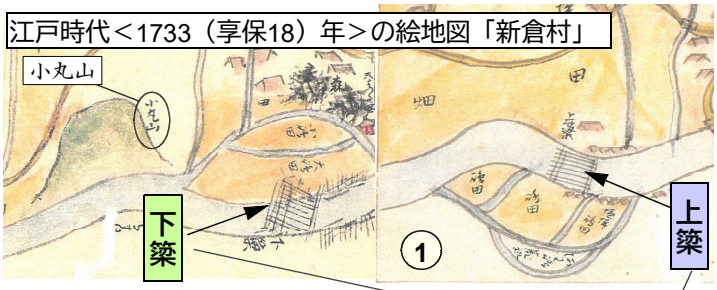
かつて、岡谷のウナギは簗(やな)漁で捕った

湖沼のウナギの習性を利用した漁法で、海で産卵・孵化をし、淡水に遡る「降河回遊」の生活形態を利用したもの

簗：川の中に木や竹を並べて組み、水をせき止めて魚を捕らえる仕掛け



江戸時代＜1733（享保18）年＞の絵地図「新倉村」



←天竜川

簗を高島藩の管理下において簗漁を保護するとともに、魚族が他領内に流出するのを防ぎ、税による藩の財政を潤すことがねらいだった。

江戸時代、簗漁は高島藩の統制を受け、天竜川にのみ許可された漁猟であった。

古文書に見える簗漁（やなりょう）

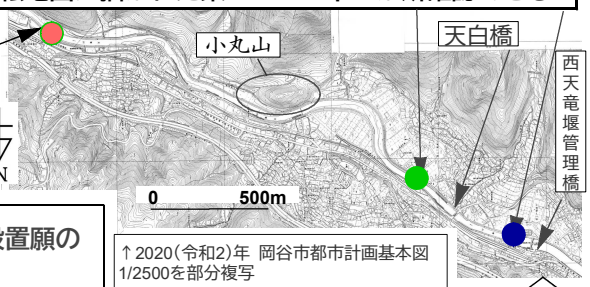
一簗打ハ義天竜川之外何方ニ而茂一切停止之事

【読み】一つ、簗打ちそうろうぎ、天竜川のほかいずかたにても一切ちょうじのこと

【意味】簗を打つことは天竜川のほかは一切禁止である

一八四三（天保十四）年「村次御廻状諸猟業御触書写」 2

江戸時代の絵地図に描かれた簗　上・下二か所確認できる



↑2020(令和2)年 岡谷市都市計画基本図 1/2500を部分複写

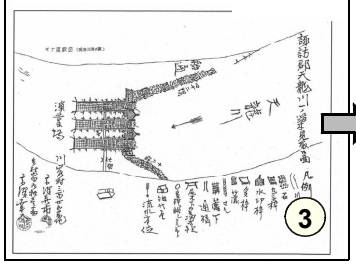
川岸 駒沢簗（最後の簗場）

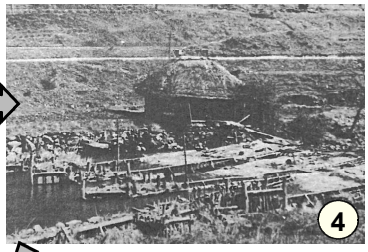
簗に関するおもな記録

天保10年　簗運上金(漁業税）上簗　84両余
同年　納額減免と新簗設置願　駒沢村 新次郎願上
明治維新前　天竜川洪水を理由に高島藩が上下二簗撤去命令
明治7年二簗取り払い　希望者が権利金を拠出、存続決定
これにより駒沢簗のみとなる
昭和4年　西天竜取入口ダム　天竜川下流発電ダム建設
昭和12年　釜口水門建設　鰻に極度の制約
昭和23年　株式による実施　大規模簗に改造
昭和49年　6／10
撤去の話合い成立　組合と県で調印　組合員18名

参考文献:1955年「川岸村誌 続」川岸村誌刊行会発行.
1980年「諏訪湖の漁労」小林茂樹 著.　2002年「駒沢区誌」駒沢区発行.

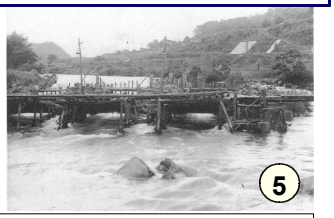
明治35年　駒沢簗設置願の添付見取図


3


4

●上簗、●下簗推定位置についての参考文献：
「川岸小学校150周年記念誌」2024年 開校150周年実行委員会発行 p.77

←昭和27年 駒沢簗と簗番小屋


5

駒沢簗：昭和20年代撮影と推定

○ かつて駒沢簗があった場所
改修された簗番小屋

2024年　市史編さん室撮影

そして今・・・

「うなぎのまち岡谷の会」が平成10年に、1月の最終の丑の日を「寒の土用丑の日」に制定
食文化の向上とまちの活性化をねらう

岡谷市内全(11)小中学校 三学期にウナギ給食提供

学校給食で提供された蒲焼き
2023年　岡谷市立長地小にて
市史編さん室撮影

岡谷のウナギの蒲焼きは・・・
- 裂きは背開き関東風
- 焼きは蒸さない関西風
- 濃くて甘めのタレが旨い！

←2024年　市内鰻専門店にて　市史編さん室撮影

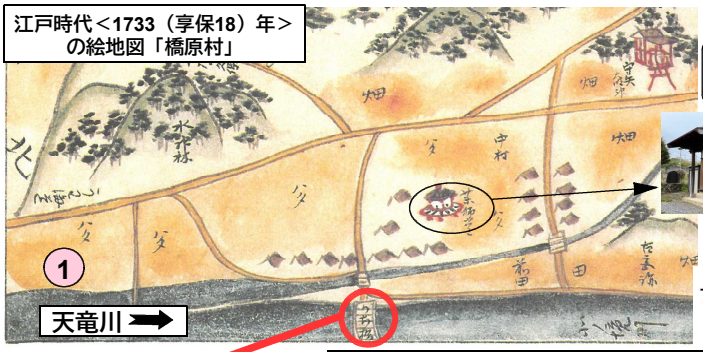
↑2025年　市内鰻専門店の暖簾　市史編さん室撮影

岡谷市のウナギ(店舗等)を紹介するパンフレット
(岡谷市HP)

出典・参考文献
①諏訪藩主手元絵図」1980年 諏訪史談会発行 p.37.38
②2002年「駒沢区誌」駒沢区発行 p.477
③1955年「川岸村誌 続」 川岸村誌刊行会 p.322
④1955年「川岸村誌 続」 川岸村誌刊行会 p.321
⑤川岸小学校資料室所蔵
(岡谷市川岸 鮎澤 毅氏 複写・提供)

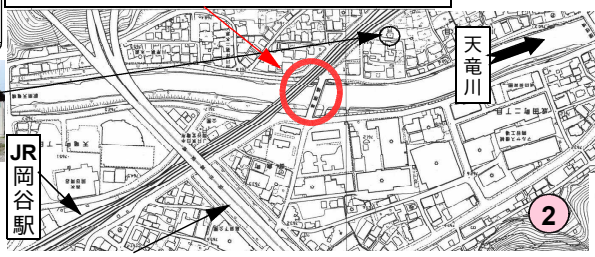
「橋原橋（はしばらばし）」は‘びったら橋’だった

江戸時代＜1733（享保18）年＞の絵地図「橋原村」



現在もある薬師堂

現在の橋原橋の位置（天竜川南側が橋原区）

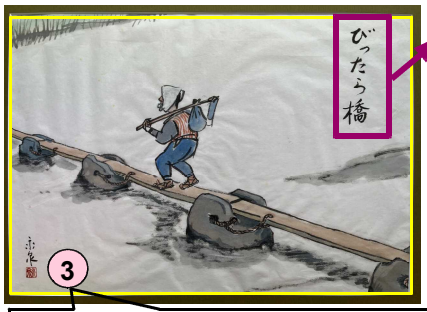


古文書（旧蹟年代記）によると、1845（弘化２）年に「始テ天竜川ニ橋掛ル」とあり、びったら橋は取り払われた

「うち橋」とある。川面が橋板を打つのでこう呼んだか？

「びったら橋」

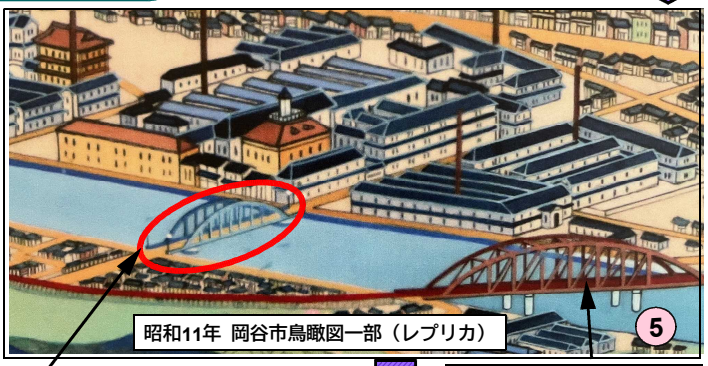
江戸時代、諏訪湖はよく氾濫したため、高島（諏訪）藩は流れを妨げる橋の架設を禁止した。そこで、上部に凹をつけた大石の橋台を川底に置き、その上に板を渡して川を渡った。通行者があると橋板がたわみ、川面をびたびたと打つため、びったら橋といわれた。



挿絵「びったら橋」の原画
佐原永泉 画（43ｃｍ×60．２ｃｍ）

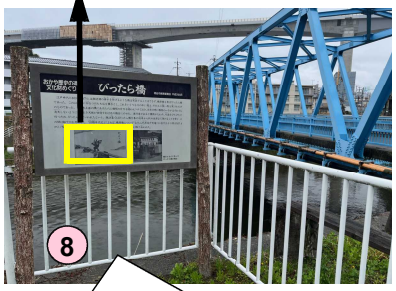
佐原永泉
＜大正5年－平成14年＞
諏訪郡湊村の山岡家の生まれ

かつての「びったら橋」の橋台



橋原橋

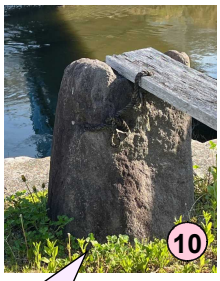
天竜川に架かる鉄道鉄橋



びったら橋の解説板（平成3年岡谷市教育委員会）

平成10年3月28日
治水記念祝賀式典挙行

「びったら橋」橋台
橋原区公会所で保管していた橋台が橋のたもとに移設された。



出水の時に橋板の一方が外れても流失しないようにしておき、天候が回復すれば元の橋台に載せた。

橋台の穴に綱を通し、橋板の片方と結わえつける構造

⑥

生活道路の整備進む

天竜川護岸改修、橋りょう建設

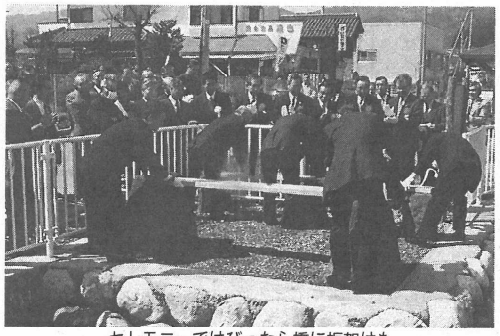
橋原区が治水記念祝賀式

天竜川の治水工事で、県が実施した岡谷市橋原地籍の護岸改修と、橋りょう架設事業の一区切りとして橋原区（吉沢警区長）は、二十八日、諏訪建設事務所、岡谷市、市議会、県議など関係者を招き、橋原橋のたもとで治水記念祝賀式典を行った。

この事業は平成元年から総額十億八千五百五十万円を投じて天竜川の護岸改修、竜上橋と捷径橋の二つの架設など実施。橋原区民が生活道路として使用してきた管理道路の拡幅改良が施され、一部は植栽された「緑の小径」もつくられている。

同区ではまだ区域内の天竜川で三分の二の護岸改修が終わっていないとしながら、上・下流の護岸整備と、生活幹線路となる橋が整備されたとして、この日のセレモニーとなった。

式典には西原諏訪建設事務所長、林市長、原市議会議長、太田、浜両県議など関係者約六十が出席した。はじめに同区天竜川改修対策会の林実英委員長が「天竜川の管理道路を生活道路や通学路として利用しているのは当区だけ、今後も人と車が安全に通れるよう一層ご尽力を」とあいさつ、続いて高さ約三㍍の治水記念碑を来賓代表が除幕。さらに江戸時代の遺物で天竜川に架かっていた「びったら橋」の石の橋台に板を渡す板架けの儀も行われた。



セレモニーではびったら橋に板架けも

参考文献：岡谷市教育委員会発行．ふるさとウォッチング
おかや歴史の道 文化財めぐりガイド編．p. 117「びったら橋」．1990.

画像出典
① 諏訪藩主手元絵図」1980（昭和60）年 諏訪史談会発行 p.44
② 2020（令和2）年 岡谷市都市計画基本図 1/2500を部分複写
③ 佐原永泉 画（制作年不詳）岡谷美術考古館所蔵
④ 釜口水門管理事務所所蔵（岡谷市川岸 鮎澤 毅氏 複写・提供）
⑤ 岡谷蚕糸蚕糸博物館所蔵 2025（令和7）年 岡谷市史編さん室撮影
⑥「岡谷市民新聞」平成10年3月29日発行 第1面 ㈱岡谷市民新聞社提供
⑦⑧⑨⑩⑪ 2025（令和7）年 岡谷市史編さん室撮影